

平成24年 7月25日

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

会議を開催します。

千代川流域の連携と交流を深めるために 「第31回千代川流域圏会議」を開催します。

このたび、「第31回千代川流域圏会議」を開催いたしますのでお知らせいたします。

開催日時：平成24年7月30日（月）15：00～16：40
開催場所：鳥取河川国道事務所 1階 会議室
開催内容：別紙のとおり

「千代川流域圏会議」は、「千代川を軸として地域の交流、連携を図るとともに、流域全体の広い視点に立ち、千代川をよりよくするための取組や地域活性化への取組を行っていくこと」を目的に年2回開催するものです。

参加メンバーは学識経験者・流域で活動される団体・各行政機関の代表者等で、平成9年の会議発足から今年で15周年目を迎えます。

第31回会議においても、学識経験者・流域で活動される団体及び行政が一同に会して、今年度の活動計画やお互いの活動紹介、これからの千代川づくり等について幅広く情報交換・意見交換を行い、流域住民の皆様方にも情報発信を行っていく予定です。

※取材について：

会議の傍聴が可能です。ただし、会議の撮影は、議事進行の都合により、冒頭の会長挨拶までとさせていただきます。取材を希望される方は、当日会場受付へお申し出ください。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所
(千代川流域圏会議事務局)

TEL 0857-22-8435 (代表)

FAX 0857-29-1819

【担当】 副 所 長 いぬやま ただし 犬山 正

【担当】 河川管理課長 いしはら あつお 石原 淳男

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.ml.it.go.jp/tottori/>

第31回 千代川流域圏会議

議 事 次 第 (案)

日 時：平成24年 7月30日 (月) 15:00～16:40

場 所：国土交通省鳥取河川国道事務所 1階 会議室

1. 開会 (15:00)
2. 会長挨拶 鳥取環境大学理事 道上正規
3. 出席者紹介
4. 平成24年度の活動計画と調整事項
 - 1) 水災害に強い地域づくり
 - 2) 千代川の水源となる森林の保全に向けた活動
 - 3) 良好な環境の保全に向けた活動 (水辺に親しむイベント)
 - 4) 活動内容のPRの強化
5. 協議事項
 - 1) 規約の改正
6. 事業紹介 (鳥取河川国道事務所、鳥取県河川課)
7. 活動紹介
8. 会員相互の意見交換
9. 閉会 (16:40)

千代川流域圏会議

設立背景・主旨

<地域の要望>

- 千代川改修促進期生同盟会
 - ①用瀬美成地区改修の事業促進
 - ②“重箱”文化の醸成と緑溢れる環境の保全・再生による水辺空間の整備事業促進
- 細かなニーズ

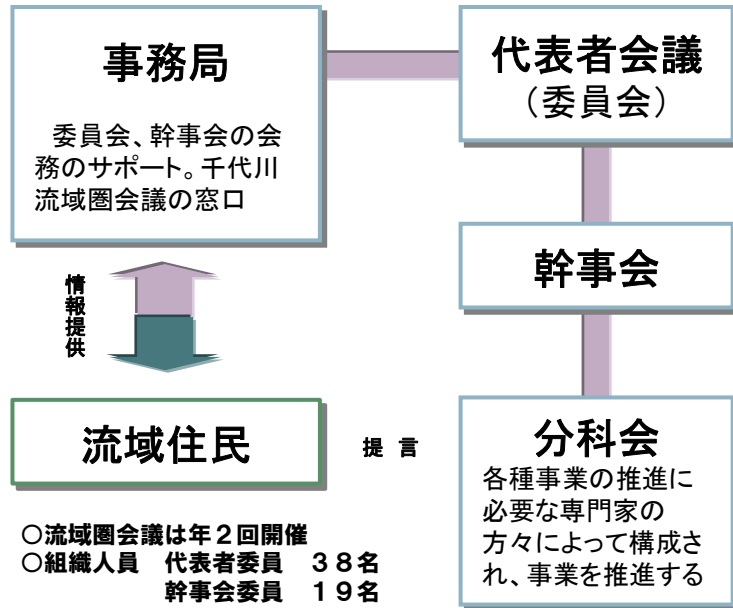
<国交省>

国土交通省の河川事業への理解推進を図りたい。

地域と行政の連携を深める必要性

流域の住民と各行政機関が交流・連携・調整を図り、千代川をよりよくしていくための組織づくりや、地域活性化を目的に設立。

組織



- 流域圏会議は年2回開催
- 組織人員 代表者委員 38名
幹事会委員 19名

- 事務局 鳥取河川国道事務所
鳥取県 河川課

メンバー

千代川流域圏会議 会員名簿

アイウエオ順

氏名 (学識経験者)	役職等
安藤 重敏	鳥取市立湖南学園 校長
尾崎 繁	鳥取大学 名誉教授
小谷 寛	(有)鳥甲や 代表取締役
作野 友康	鳥取大学 名誉教授
鶴崎 展巨	鳥取大学 地域学部 教授
樽谷 治	鳥取大学大学院 工学部 教授
道上 正規	鳥取環境大学 理事
八百谷 和子	鳥取環境大学 非常勤講師
山本 晴恵	鳥取県生物学会 幹事
吉田 幹男	(株)地域デザイン研究所 所長
(活動団体)	
粟嶋 道和	袋川桜はくむ会 会長
池原 範雄	鳥取市自治連合会 会長
伊藤 美都夫	(社)鳥取県緑化推進委員会 理事長
景山 一夫	鳥取県漁業協同組合 代表理事組合長
黒田 敏博	郵便局(株)因幡地区連絡会統括局長
清水 昭允	鳥取商工会議所 会頭
柴原 史則	(社)鳥取青年会議所 副理事長
寺坂 邦雄	杉の葉・吟醸の会 会長
中村 顕	NPO法人八東川清流クラブ 理事長
西川 博昭	千代川漁業協同組合 代表理事組合長
長谷川 浩司	鳥取カヌークラブ代表
浜辺 正篤	鳥取自然保護の会 会長
福田 紀生	NPO法人 日本野鳥の会 鳥取県支部長
藤田 充	NPO法人 賀露おやしの会 理事長
前橋 登志行	智頭町親水公園連絡協議会 会長
山崎 健一	構鈴ホテルの会 会長
山田 幸夫	狐川桜美しくする会 会長
(行政機関)	
古賀 俊行	鳥取県 県土整備部長
小林 昌司	若杉町長
斎藤 明彦	鳥取県 東部総合事務所長
塩永 博信	林野庁 鳥取森林管理署長
杉本 邦利	鳥取市水道事業管理者 水道局長
竹内 功	鳥取市長
田中 衛	国土交通省 鳥取河川国道事務所長
寺谷 誠一郎	智頭町長
西山 信一	鳥取県 農林水産部長
平木 誠	八頭町長
山口 秀樹	鳥取県 八頭総合事務所長

千代川流域圏会議

活動

- 委員相互の情報交換、交流、連携
- 河川事業、防災情報等の地域への情報発信
- 流域の歴史・文化の発掘とその継承と発展
- 流域が連携して取り組むべき事業の調整と実施
- 流域全体の広い視点に立った今後の千代川づくりに関する意見交換、提案など

「清流を守る行動計画」を策定（平成12年）

- ①「清流保全宣言の制定」
- ②「千代川流域圏会議の森」の制定
- ③良好な水質の保全
- ④住民参加の推進
- ⑤活動のPR

千代川流域圏会議



住民参加による千代川フェスティバル



千代川ニュースによる活動のPR



検討経緯

1997年12月12日

鳥取大学 副学長道上教授他6名からなる発起人会の呼びかけで、34名の賛同者を得て、「千代川流域圏会議」が発足。

1998年4月～

流域住民への情報提供として広報誌「千代川ニュース」発行開始。

1998年5月

流域圏会議にて、「大正8年に治水のために流域の住民が一致団結して連合治水会を結成」した日に由来して、8月24日を「千代川の日」と制定。

1998年8月～

「千代川の日」を記念し、流域住民に実体験を通して千代川に関心をもっていただくことを目的に「千代川フェスティバル」を開催。（毎年）

2000年8月

千代川流域圏会議にて「清流を守る行動計画」を策定。

2001年～

清流を守る行動計画の良好な水質の保全、植生浄化実験の試行として休耕田を利用した植生浄化実験を開始。（2007終了）

2003年～

千代川における水環境の保全、並びに流域住民の水質に関する意識の高揚を図る事を目的に千代川一斉水質調査を開始。（毎年1回実施）

2007年11月17日

千代川流域圏会議が発足して10周年を迎えるにあたり、千代川の文化を再考する機会としてシンポジウムを開催。

2008年1月

安全で清浄な水を確保し、住民の生命及び健康を守る事を目指し、流域市町で「水道水源保全条例」が制定されていない自治体に制定の依頼を行う。

会議or取組の効果

- ・智頭町、鳥取市などが水源地を守る条例を制定。
 - ・「流域が連携して取り組むべき事業の調整」による河川事業の促進。
 - ・広報活動に伴う住民の意識の向上。
 - 千代川に対する関心・親しみが増すことで
 - 「河川事業に対する理解が進み事業の推進が円滑に進む」
 - 「地域住民の防災意識の向上」
 - 「住民参加も含めた水辺環境の浄化活動の推進」
- 等の効果。

今後の予定

- ・河川管理の適切化を目指し、流域が連携して取り組むべき事業の調整
- ・会議を通じて、流域全体に防災に係わる住民への情報提供・啓発活動